

# 記 載 例

## 車両の諸元に関する説明書（包括用）

トラック ・ トラクタ ・ トレーラ

整理番号	車両重量		車両諸元		
	トラック・トラクタ・トレーラ	乗員	幅 (B)	高さ (H)	長さ (L)
	t	t	cm	cm	cm
1	3.2	0.06	259	255	398
2	3.1	0.06	258	253	397
3	3.0	0.06	257	252	396
4	2.9	0.06	256	250	395
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12	合成値とは・・・ 複数台トラック・トレーラそれぞれの諸元を、通行条件が最も厳しくなるよう組み合わせたもの。総重量・長さ・幅・高さ・最大軸重に関しては最大値を採用する。 この合成値を、申請書へ転記する。				
13					
14					
15					
16					
合成値	t	t	cm	cm	cm
	3.2	0.06	259	255	396

- (注1) 本様式は、包括申請のみに使用するものとし、連結車の場合は、トラクタ及びトレーラを別葉とし、該当するものを○で囲むこと。
- (注2) 連結車の場合は、トラクタについては、車両長の欄は第5輪又はピルトンフック（以下「連結部」という。）より車両の先端までを、最遠軸距の欄は連結部より最前軸までの距離を記入する。トレーラについては、車両長の欄は連結部より車両の後端までの距離を記入する。
- (注3) 本様式の最下欄には、合成車両による値を記入し、2枚以上にわたる場合には最終のもののみを記入すること。  
 合成方法は、「車両の諸元に関する説明書」によるものとし、車両諸元表並びに荷重分布表の軸重の計、輪荷重及び軸重の合計の欄について記入すること。なお、セミトレーラの場合、「車両の諸元に関する説明書」の総重量説明表の自重の小計欄に、トラクタ及びトレーラの合成車両の荷重分布表の自重+乗員の合計の和を、同積載物の小計欄にトレーラの合成車両の荷重分布表の積載物の合計を記入。
- (注4) 整理番号は、「車両内訳書」の整理番号と一致させること。
- (注5) 合成値欄の車両重量、積載物重量、車両諸元及び最大軸重は最大値を記入。
- (注6) 合成値欄の最遠軸距、最小隣接軸距及び最大軸重軸最外輪中心間距離は最小値を記入。